

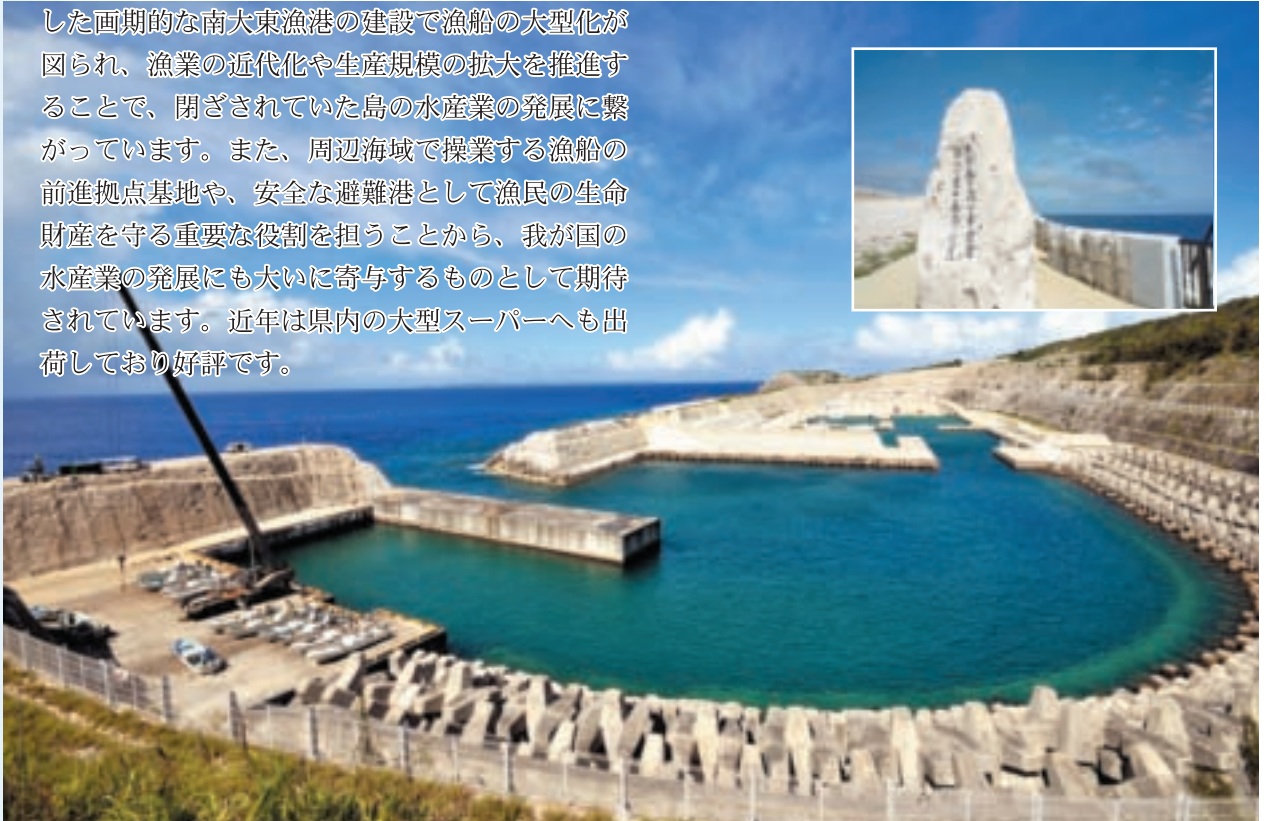
水産業

島の水産業の発展と周辺海域で操業する漁船の前進拠点基地。

南大東村の水産業は近海がマグロやサワラ、ソデイカ等の豊富な漁場ですが、島の地形的な特性から自然の入江や良港がないことや、気象の面においても極めて厳しい洋上の孤島であるために、これまでは小型ポートによる漁獲で村内需要と若干の村外出荷が見られる小規模漁業経営を余儀なくされてきました。しかし、平成元年度から着工した画期的な南大東漁港の建設で漁船の大型化が図られ、漁業の近代化や生産規模の拡大を推進することで、閉ざされていた島の水産業の発展に繋がっています。また、周辺海域で操業する漁船の前進拠点基地や、安全な避難港として漁民の生命財産を守る重要な役割を担うことから、我が国の水産業の発展にも大いに寄与するものとして期待されています。近年は県内の大型スーパーへも出荷しており好評です。



南大東漁港



漁業組合・加工施設

豊かな水産資源の活用

製氷施設の整備、加工施設や長期鮮度保持冷蔵施設の導入、中層浮き魚礁の設置など確実に漁業環境整備が進み漁業者の経営安定が図られています。



南大東漁港内



長期鮮度保持冷蔵施設“水感”

